

パワー防錆NKRN-66

【承認された新技術登録申請情報】 2024/04/26

技術名称 **パワー防錆NKRN-66**

NETIS番号 **KT-240025**

密着成分を超微粒子に改良した変性エポキシ樹脂防錆補修剤

開発会社：株式会社染めQテクノロジー

区分：材料

NETIS登録技術

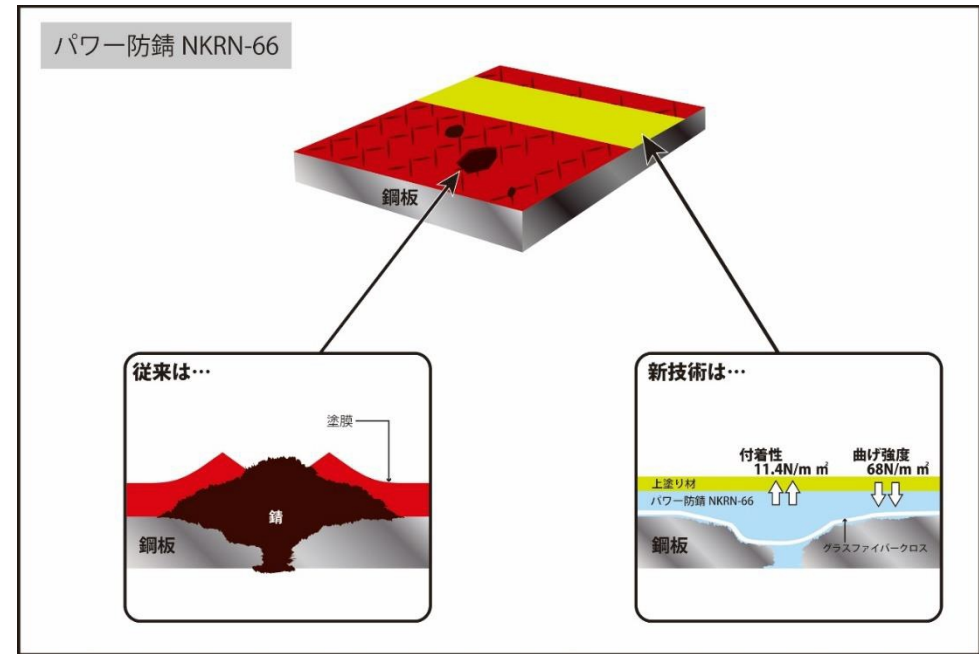
本材料は、鋼構造物の補修に用いる、密着成分を微粒子に改良した変性エポキシ樹脂防錆補修剤である。

従来は、鋼板の当て板を溶接と塗装により行っていた。

本技術を活用することにより、溶剤作業が不要となるため、工程の短縮及び経済性が図れる。

公共事業適用箇所：鋼構造物補修工事、鋼製配管補修工事、橋梁補修工事、橋脚補修工事、横断歩道橋補修工事、標識・照明柱の補修工事

その他：従来の密着成分を100nm以下の超微粒子にすることで、被塗面と接する面性が増大し、深部に浸透することで錆の状態が「点錆が進行し、こぶ状態」になっても、「活膜を残し、それ以外の不良部を除去」すれば、水と酸素による酸化還元反応や電気化学反応を阻止できる。



パワー防錆NKRN-66

【従来技術との比較】

経済性	工程	品質	安全性	施工性	周辺環境への影響
向上84.65%	短縮50%	同程度	同程度	同程度	向上

経済性について…

劣化した歩道橋階段の補修に於いて、従来技術では当て板溶接した後に重防食塗装をしておりました。新技術工法はパワー防錆NKRN-66とファイバーガラスクロスを併用することで、工事費用が従来技術と比較をすると1/8以下になっております。

工程に於いて…

溶接を伴う従来技術より工程短縮が図れ、工期を半分にすることが可能となりました。

周辺環境への影響…

新技術工法は亜鉛末を非結晶体に変えることによる重金属の減少、また有機化合物を35～65%から10%以下に低減することで作業に携わる作業員と周辺環境が改善されるため、周辺環境への影響が向上されております。

従来は、腐食または断面が欠損した部位に当て板を溶接し、その上に塗膜を重ねる必要がありましたが、本材料は、密着成分を超微粒子化した変性エポキシ樹脂防錆補修剤を塗布することで、溶接工程が不要となるため、経済性の向上と工程の短縮が実現しました。